

新しい福島市総合計画策定のための 『市民アンケート調査』ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から福島市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、新しい『福島市総合計画』の策定に取り組んでいます。

総合計画は本市の将来像を描き、その実現に向けた市政運営の指針となるものです。

そこで、市民の皆様からご意見をいただき、新しい計画づくりに役立てるため、アンケート調査を実施いたします。

ぜひ、このアンケートを通して、皆様が想う未来の福島市の姿を私にお伝えください。

市民の皆様、共に福島市の未来を創っていきましょう！

福島市長 木幡 浩

アンケートの回答方法

1. 封筒のあて名のご本人にご回答をお願いします。
2. 回答はこの調査票に直接ご記入いただくか、インターネットでの回答にご協力をお願いします。

調査票による回答

8月5日(月)までにポストに投函

ご記入後の調査票を、同封の返信用封筒(青色・切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

インターネットによる回答

8月6日(火)までに入力

回答フォームへ

右のQRコードを読み込むか、下記URLから回答フォームにお入りいただき、入力をお願いします。



インターネットで回答された場合には、本アンケート調査票の返送は不要です。

回答URL : <https://fukushimaCity.ubinavi-plus.com/yb/page/ybSurvey.php?hidReportList=RPT0000023>

インターネットでの回答にご協力をお願いします

【お問い合わせ先】 福島市 政策調整部 政策調整課 総合計画係 (福島市五老内町3番1号)

TEL : 024-525-3788 FAX : 024-536-9828

メール : seichou@mail.city.fukushima.fukushima.jp



ふくしまウェブ案内人 翻訳サービス (The “Fukushima Web Guide” translation service.)

English (英語) ・ 한국어 (韓国語) ・ 簡体字 (簡体字中国語) ・ 繁体字 (繁体字中国語)

Scan the QR Code.

新しい福島市総合計画策定のための市民アンケート調査

皆様が日頃感じていることをお聞かせください。

ご協力よろしくお願いします。

※回答にかかる時間は、10分程度です。

◆調査項目【25問】

1. あなた自身のこと
2. まちづくりに関すること
3. 結婚や子育てに関すること
4. 自由記入

◆ご回答にあたっての留意事項

- ・このアンケートにご協力をいただく方は、市内にご住所のある15歳以上の方の中から性別や居住地区を考慮して3,000人を無作為に選びました。
- ・アンケート結果は統計的に処理し、他の目的に使うことはありません。
- ・分かりにくい箇所につきましては、分かる範囲でお答えください。
- ・インターネットで回答いただく場合には、本アンケート調査票の返送は不要です。

総合計画とは

- ・本市のまちづくりに関する最上位の計画で、本市の将来の目標の実現に向けて取り組みを進めるための、まちづくり全体の基本的な指針となるものです。
- ・本市では令和3年度に現在の第6次福島市総合計画を策定しました。
- ・このアンケート調査の結果は、次期総合計画を策定する際に、本市が目指すべき将来のまちづくりの方向性等を検討する基礎資料になります。



現在の総合計画は、
多くの市民の皆さんから
意見をいただき策定しました。

1. 現在のあなた自身のことについてお伺いします。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

(2) あなたの年齢は、何歳ですか。

() 歳

(3) あなたのお住まいの地区は、どちらですか。
(お住まいの地区は、次のページの表を参考にしてください。)

1. 中央地区
2. 渡利地区
3. 杉妻地区
4. 蓬萊地区
5. 清水地区
6. 東部地区
7. 大波地区
8. 北信地区
9. 吉井田地区
10. 西地区
11. 土湯温泉町地区
12. 信陵地区
13. 立子山地区
14. 飯坂地区
15. 茂庭地区
16. 松川地区
17. 信夫地区
18. 吾妻地区
19. 飯野地区

【設問(3)のお住まいの地区の参考資料】

No.	地区名	お住まいの住所
1	中央地区（本庁）	旧市内・五十辺・信夫山・野田町・ 東中央一丁目・南中央一丁目・南中央四丁目(吾妻地区を除く)
2	渡利地区	渡利（南向台を含む）・小倉寺
3	杉妻地区	郷野目・鳥谷野・太平寺・黒岩・伏拝
4	蓬萊地区	蓬萊町・清水町・田沢
5	清水地区	森合・泉・御山・南沢又・北沢又・ 野田町の一部（上谷地、上高野、高野、谷地）
6	東部地区	岡部・山口・岡島・本内の一部（阿武隈川以東の地域）・ 鎌田の一部（阿武隈川以東の地域）
7	大波地区	大波
8	北信地区	本内・丸子・鎌田・瀬上町・宮代・下飯坂・冲高・ 北矢野目・南矢野目
9	吉井田地区	方木田・吉倉・八木田・仁井田
10	西地区	佐倉下・上名倉（さくらを含む）・佐原・ 荒井（荒井北を含む）
11	土湯温泉町地区	土湯温泉町
12	信陵地区	笹谷・大笹生
13	立子山地区	立子山
14	飯坂地区	飯坂町・飯坂町平野・飯坂町中野・飯坂町湯野・ 飯坂町東湯野・大笹生の一部（中沢、中沢西、中道、釜平）
15	茂庭地区	飯坂町茂庭
16	松川地区	松川町（松川町美郷を含む）・松川町関谷・ 松川町金沢・松川町浅川（光が丘、金谷川を含む）・ 松川町水原・松川町沼袋・松川町下川崎
17	信夫地区	永井川・大森・成川・下鳥渡・上鳥渡・山田・ 小田・平石
18	吾妻地区	笹木野・上野寺・下野寺・八島田・李平・町庭坂・ 二子塚・在庭坂・土船・庄野・桜本・ 東中央二丁目～三丁目・西中央一丁目～五丁目 南中央一丁目～四丁目・北中央一丁目～三丁目
19	飯野地区	飯野町・飯野町青木・飯野町大久保・飯野町明治

(4) あなたは福島市に通算して何年住んでいますか。

1. 1年未満
2. 1～2年
3. 3～5年
4. 6～9年
5. 10～19年
6. 20～29年
7. 30～39年
8. 40～49年
9. 50～59年
10. 60年以上

(5) あなたが福島市に居住することになったきっかけは何ですか。

1. 生まれたときから住んでいる
2. 自らの進学
3. 家族の引っ越し
4. 自らの就職・転勤・転職
5. 結婚・離婚
6. 家族等の介護
7. 福島市が気に入ったから
8. 東日本大震災による避難
9. その他（

）

(6) あなたの家族構成は、次のどれですか。

1. 単身世帯
2. 一世代世帯（夫婦のみ、兄弟や姉妹のみなど）
3. 二世代世帯（親と子、親と子の夫婦）
4. 二世代世帯（母子世帯、父子世帯など）
5. 三世代世帯（親と子と孫など）
6. その他（

）

(7) あなたの主なお勤めの状況は、何ですか。

-
- ```
graph LR; 1[1. 正規の職員] --- J1; 2[2. 派遣・嘱託・契約社員] --- J1; 3[3. パート・アルバイト] --- J1; 4[4. 自営業主・家族従業員] --- J1; 5[5. 会社役員] --- J1; 6[6. 学生] --- J2; 7[7. 専業主婦・主夫] --- J3; 8[8. 無職] --- J3; J1 --> Q8[設問(8)へ]; J2 --> Q910[設問(9)、(10)へ]; J3 --> Q6[6ページへ];
```
1. 正規の職員  
2. 派遣・嘱託・契約社員  
3. パート・アルバイト  
4. 自営業主・家族従業員  
5. 会社役員  
6. 学生  
7. 専業主婦・主夫  
8. 無職
- 設問(8)へ  
設問(9)、(10)へ  
6ページへ

(8) 設問(7)で、1から5に○をつけた方にお伺いします。  
あなたのご職業は何ですか。兼業の方は、主な職業のみお答えください。

1. 農林水産業（農業、林業、漁業など）
2. 製造業、建設業、運輸業、郵便業
3. 卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業
4. 電気、ガス、熱供給、水道業
5. 情報通信業（放送業、情報サービス業、映像制作業など）
6. 医療、福祉業（保育、介護事業など）
7. 金融、保険、不動産業
8. 教育、学習支援業（幼稚園教諭、学校教諭など）
9. 公務（国家公務員、地方公務員）
10. その他（ ）

(9) 設問(7)で、6(学生)に○をつけた方にお伺いします。  
あなたが将来就きたいと思う職業は、どれですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

あなたが将来就きたいと思う職業は、どれですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 農林水産業（農業、林業、漁業など）
2. 製造業、建設業、運輸業、郵便業
3. 卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業
4. 電気、ガス、熱供給、水道業
5. 情報通信業（放送業、情報サービス業、映像制作業など）
6. 医療、福祉業（保育、介護事業など）
7. 金融、保険、不動産業
8. 教育、学習支援業（幼稚園教諭、学校教諭など）
9. 公務（国家公務員、地方公務員）
10. その他（ ）



2. 福島市のまちづくりについて、あなたのお考えをお伺いします。  
あてはまるものに○をつけてください。

(1) あなたは、福島市で暮らしていて、どのような点に“魅力”を感じますか。  
あてはまるもの5つまで○をつけてください。

1. 子育て・教育環境
2. 防災・防犯対策の充実
3. 医療・福祉体制
4. 魅力的な文化資源
5. 豊かな自然
6. 豊富な農産物
7. 買い物のしやすさ
8. 多様な就労先（やりたい仕事を見つけやすい、仕事が多いなど）
9. レジャー・娯楽
10. 魅力的な観光資源
11. スポーツを楽しむ環境
12. 交通の利便性
13. 首都圏に比べて安価な住宅や土地
14. 首都圏に比べて安価な生活コスト
15. 温かい市民性
16. その他（)



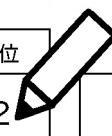
(2) あなたは、福島市で暮らしていて、どのような点が“不足”と感じますか。  
あてはまるもの5つまで○をつけてください。

1. 子育て・教育環境
2. 防災・防犯対策の充実
3. 医療・福祉体制
4. 魅力的な文化資源
5. 豊かな自然
6. 豊富な農産物
7. 買い物のしやすさ
8. 多様な就労先（やりたい仕事を見つけやすい、仕事が多いなど）
9. レジャー・娯楽
10. 魅力的な観光資源
11. スポーツを楽しむ環境
12. 交通の利便性
13. 首都圏に比べて安価な住宅や土地
14. 首都圏に比べて安価な生活コスト
15. 温かい市民性
16. その他（ ）

(3) 福島市が主に推進している次の取り組みの中から、あなたが特に優先すべきと思うものを順に5つ選び、番号を記入してください。

記載方法 下の四角の欄に順位ごとに番号を記入してください。

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  |    |    |    |



1. 子育て支援の充実
2. 教育と学びの環境の充実
3. 放射線対策と風評払拭の推進
4. 災害対策の強化
5. 健康・医療・福祉の推進
6. 文化・芸術の振興
7. 地球温暖化やごみの減量などの環境対策の推進
8. 農業や林業の振興
9. 商業や工業の振興
10. 中心市街地の魅力と回遊性の向上
11. 観光の振興
12. スポーツの振興
13. 移住・定住の促進
14. 性別や年齢、国籍等に関わらず活躍できるまちづくり
15. 市民と行政が一体となったまちづくり
16. 都市ブランド力の向上と情報発信の強化
17. デジタル化の推進
18. 効率的な行財政経営の推進

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |

(4) あなたは、福島市は将来どのようなまちを目指していくことが大切だと思いますか。あてはまるもの5つまで○をつけてください。

1. 子どもを産み・育てやすい、子育てサポートが充実しているまち
2. 将来の担い手を育成する、教育が充実しているまち
3. 防災・防犯対策が充実した、安全で安心して暮らせるまち
4. 健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者など誰もが暮らしやすいまち
5. 歴史を大切にし、文化活動が盛んな文化の薫り高いまち
6. 緑が豊かな山やきれいな川を大切にし、自然と共生できるまち
7. 各種産業(農業、商業、工業など)が盛んで、地域経済が活性化しているまち
8. にぎわいのある街なかと活力のある地域が利便性の高い交通ネットワークで結ばれているまち
9. 観光資源(温泉、名所・旧跡、景観など)を活かした、交流が盛んなまち
10. すべての人が日常的にスポーツを楽しむまち
11. 「福島」の知名度を活かした、国際交流が盛んなまち
12. 地域コミュニティが活発な市民総参加のまち
13. 県都・県北の中心都市として周辺地域と連携し、共に活性化しているまち
14. 新しい取り組みが次々と現れるチャレンジしやすいまち
15. 新しいエネルギーやテクノロジー(AI(人工知能)など)を活用し、持続的に発展していくまち
16. その他( )
17. わからない

(5) あなたは「まちづくり」について、市民と行政の関係がどうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 行政の支援を受けながら、市民主導でまちづくりを進める
2. 市民と行政がそれぞれの役割を担いながら、目的を共有してまちづくりを進める
3. 市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める
4. その他 ( )

(6) あなたは、行政サービスと負担の関係について、どうあるべきだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 費用(税金や使用料など)の負担が増えても、充実した行政サービスを受けたい
2. 市民と行政の役割分担を見直しながら、必要な行政サービスを受けたい
3. 負担が増えない範囲の行政サービスでよい
4. その他 ( )

3. 結婚や子育てについて、あなたのお考えをお伺いします。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) あなたは結婚していますか。

1. 未婚 → 設問 (2) へ  
2. 既婚 (事実婚を含む) → 設問 (3) へ  
3. 結婚したが離別・死別 → 設問 (2) へ

(2) 設問(1)で、1と3に○をつけた方にお伺いします。  
あなたは将来結婚したいと思いますか。

1. 結婚したい。する考えがある。 → 設問 (3) へ  
2. 結婚したくない。する考えはない。 → 設問 (4) へ  
3. わからない → 設問 (3) へ

(3) あなたは、どのような状況になれば結婚すると思いますか。  
結婚経験のある方はどのような状況で結婚を決心しましたか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 適した年齢になること
2. 結婚の必要性を感じる
3. 仕事（学業）が落ち着くこと
4. まわりの友人が結婚しはじめること
5. 結婚しても自分の自由になる時間が見込めること
6. 良い相手と出会う機会があること
7. 経済的に安定すること
8. 親や周囲が結婚に同意すること
9. 特になし
10. その他（

(4) あなたに子どもはいますか。

1. いる ( 人 )  
2. いない

(5) あなたが子どもを持つとしたら、持ちたいと思う子どもの数は何人ですか。

(お子さんをお持ちの方は、現在のお子さんを含めたすべての人数をお答えください。)

1. 0人
2. 1人
3. 2人
4. 3人
5. 4人
6. 5人以上

(6) あなたは子どもを持つとしたら、どのようなことを重視しますか。

(お子さんをお持ちの方は、どのようなことを重視しましたか。)

あてはまるもの5つまで○をつけてください。

1. 地域の保育サービスが整うこと（保育所や学童クラブなど）
2. 働きながら子育てができる職場環境であること
3. 住居の広さが十分であること
4. 雇用など収入が安定していること
5. 自分の仕事（キャリアなど）に影響がないこと
6. 子育てや教育にかかる費用負担が少ないこと
7. 自分または配偶者の年齢
8. 健康上の問題がないこと
9. 配偶者が家事・育児に協力してくれること
10. 配偶者以外の家族に、育児に協力してくれる人がいること
11. 妊娠・出産・育児について相談できる人が身近にいること
12. その他（

## 4. 自由記入欄

(1) あなたが普段感じている福島市の“誇り”や“自慢”できることについてお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

(2) 市政に関するご意見などがありましたら、お聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

以上でアンケートは終了です。

ご協力、誠にありがとうございました。

**8月5日(月)までに同封の返信用封筒(青色)に入れて、ポストへ投函してください。**

なお、インターネットでの回答にご協力いただいた場合には、調査票の返送は不要です。